

# まき 広報

1980  
3/10

発行/新潟県巻町 編集/企画課 昭和53年11月2日第3種郵便物認可  
毎月2回 10日・25日発行1部10円

第335号

## きょうは、 楽しい「ひな祭り」 四ツ郷屋保育園



三月三日、四ツ郷屋保育園(高杉敏子園長・園児三十二人)では、「ひな祭り」を祝いました。  
保育園遊戯場の壇上には、市販のひな人形と、四歳児が牛乳びんと折紙で作った「めびなとおびな」をきれいに飾り、園児たちは母の会が用意してくれた甘酒でカンパイ。やがて、園児八人が「おだり様とおひな様」に扮して壇上にのぼり、みんなで「ひなまつりの歌」を合唱するなど、楽しい一日を過ごしました。



佐野 雅 繁

☆生年月日 五十三年七月六日

☆住所 一区☆両親の名まえ 賢

二(父)則子(母)☆続き柄 長

男☆名づけ親 親せきの人☆名ま

えの由来 たくましい子供に育つ

ように☆愛称 マーちゃん☆好物

メン類、トウフ、トマト、バナナ

### 赤ちゃん 登場



丸山 朋 美

☆生年月日 五十四年八月十七日

☆住所 十一区☆両親の名まえ

治男(父)芳美(母)☆続き柄

長女☆名づけ親 祖父☆名まえの

由来 心の美しい子に育つように

☆愛称 トモちゃん☆好物 ミカ

ン、センベイ、イチゴ、おじや

# ゴミ処理施設を （湯東村） 移転新設

55年度・56年度  
2カ年度継続事業

## 総事業費一十億円、六月着工予定

巻町外三ヶ町村衛生組合では、現有のじんがい焼却場（巻町大字割前）が、年々増え続けるゴミ搬入量に対応できなくなってきたことから、最新式のゴミ処理施設を湯東村大字鎧湯地内に移転新設することになりました。

新しいゴミ処理施設は総事業費約二十億円をかけて、五十五年六月に着工し、五十七年三月完成を予定しています。

巻町外三ヶ町村衛生組合（管理者・巻町長高野幹二）では、年々増え続けるゴミの処理対策として焼却場新設の計画「ゴミ処理施設整備事業」案を、去る二月二十八日開催の衛生組合議会上程し、全員一致の可決を得たことから、六月の建設工事着工に向けて準備を進めています。

却処理施設と粗大ゴミ処理施設を合わせ、総事業費約二十億円をかけ湯東村大字鎧湯地内に、一万六千六百平方メートルに建設されるもので、五十五年と五十六年度の二カ年度継続事業で、この六月に着工し、五十七年三月末の完成を予定しています。

初年度に当る五十五年度は、事業費として八億八千八百八十万円を計上しており、ほかに、焼却場までの搬入路の改良舗装整備事業も並行して実施されます。

ゴミ処理施設を新設する背景には、現在可動中の焼却場（大字割

▲現有のじんがい焼却場



前・四十二年完成）の処理能力が、年々増大する搬入量（昨年は約一万八千ト）についてゆけなくなつたということがまずあげられます。とくに、六月から九月にかけての夏場は、フル回転しても搬入量の約六十％のゴミしか焼却できず残りの四十％は埋め立て処理にまわされているのが実状です。

さらに、施設の老朽化が目立ってきたことや、国の定める環境規格が年々厳しくなっていることもあげられます。

こうしたことから、衛生組合では巻町・西川町・岩室村・湯東村



の四町村人口約五万五千人が、十年後六万六千人に増加した場合のゴミ搬入量を推算し、これに十分対応できるゴミ処理施設の建設計画を進めてきました。

### 新設の処理施設は省資源型

新しいゴミ処理施設は、コンビユーター自動制御装置付きの焼却炉で、無駄なく円滑な運用ができる一日五十ト処理の現有施設にくらべると、実に、倍半の一日百二十トの処理能力を持つ施設となります。

しかし、ゴミはただ焼却すればよい、埋めてしまえばよいというものではありません。燃料費節約や埋立地確保の問題もあります。また、再生できるゴミとできないゴミを選別しながら処理してゆ

く、いわゆる省資源・再利用の側面も兼ね備えていかなければなりません。さらに煙や汚水などの処理も十分にし、生活環境の保全も細心の配慮が必要です。

新しいゴミ処理施設は、こうした全ての点に対応できる最新鋭の設備の整った施設です。

現在の焼却場施設では、ゴミ集取車が集めたゴミを選別することなく、直接、焼却炉へ投下する直投方式をとっています。

このため、ゴミの多く出る日はゴミがある程度燃えてしまうまで集取車が待機していなければいけませんし、それでも間に合わない場合は埋立地まで運ばなければならぬのです。

ところが、新しい焼却施設では

く、いわゆる省資源・再利用の側面も兼ね備えていかなければなりません。さらに煙や汚水などの処理も十分にし、生活環境の保全も細心の配慮が必要です。

新しいゴミ処理施設は、こうした全ての点に対応できる最新鋭の設備の整った施設です。

現在の焼却場施設では、ゴミ集取車が集めたゴミを選別することなく、直接、焼却炉へ投下する直投方式をとっています。



▲集められたゴミを人力で焼却炉へ投下する作業員

## 印鑑登録の切替え手続きはもう、お済みでしょうか？

### 3月31日までに忘れず手続きを

ゴミ集取車が集めたゴミをいったんゴミピットに貯留し、コンビユーター管理のもとで計画的に定量づつ焼却処理することができま

また、粗大ゴミ処理施設も併設されますので、テレビや洗たく機などの家電品や、家の取り壊しで出る廃材などの処理が楽々できるようになります。

これらの粗大ゴミは破砕機で細かく砕いた後、自動分別機械にかけ、鉄などであれば強力な磁石で吸い取って、プレスしたうえでクズ鉄として業者に卸し、資源還元をはかります。また、可燃ゴミは

焼却施設にまわし、どうにも利用できない不燃物は埋立地に運びます。

（なお、PCB含有の家電品は衛生組合で年に何回か特定収集日を定めて、集中的にPCBを取り除いたうえで、処理する予定です。）

一方、焼却の際に出る煙については、電気集じん器で煙じんを捕集するため、大気汚染防止にも十分対応できるので、煙公害や悪臭の心配がありません。

汚水についても、排水処理装置で「ろ化」した後、焼却炉の温度を下げる「冷却水」として再利用

し、大気中に蒸気として発散させるので清潔です。

衛生組合では現在、国（厚生省）に事業計画案を申請中であり、これが認められれば、総事業費約二十億円のうち国の補助が二十五％の約五億円、残り十五億円のうち七十五％を起債予定、二十五％を衛生組合加盟の四カ町村の一般財源でまかなうこととなります。

各町村の負担区分は、ゴミの搬入実績数割となりますので、当町の一般財源持ち出しは六十二・一五％に当る約三億七千万円となる見込みです。

巻町印鑑条例の改正に伴い、昨年十一月一日から印鑑証明の方法が変わりました。

新しい印鑑証明書は、間接証明方式といって、みなさんが役場に届けてある実印の写しを証明して発行するものです。このため、町では、登録手続の済んだ方に印鑑登録証（名刺大のカード）をお渡しして、その登録証によって印鑑

証明書を発行しています。

印鑑登録の切替え手続き期限は三月三十一日までです。四月一日からは切替え登録が済んでいない印鑑については、未登録扱いとなるため、新たに登録手続きをしていただく必要があります。

本人がこられて新たに登録手続きをされる方には、すぐ新しい印鑑登録証を発行するため問題はない

ありませんが、代理の人に頼んで登録申請される場合、登録証発行までに数日の期間を要するため印鑑証明がすぐ必要なきは間に合わなくなってしまうことがあります。ですから、必要なとき、すぐ印鑑証明書の交付が受けられるよう切替え手続きは早目に済ませておきましょう。

切替え手続きの方法や、登録できる印鑑とできない印鑑の区別など、くわしい内容については、広報まき五十四年十月十日号、十一月二十五日号をご覧ください。

また、不明な点がありましたら役場住民課にご照会ください。

# 4月から

## 空ビン回収を実施 巻地区対象に毎月七日

わたしたちの暮らしの中から排出されるゴミの量は、年々増えてきています。

巻町で収集・運搬されるゴミの量は、一日当り約一十ト、年間で約七千三百ト(五十三年度)にもおぼりこれらの収集や処理に六千三百七十五万円もの経費がかかりました。

再利用もできないゴミばかりではないか。実は、わたしたちのゴミの出し方(分別の仕方)によっては、十分に再利用できるゴミもあるのです。

たとえば、古新聞や古雑誌、ダンボール、空カン、空ビン、金物類、布類などがそうです。

全国各地で省資源・再利用運動がいろいろな形で展開されています。



▲空ビン回収に協力する主婦たち(東6区)

す。私たちの町でも、巻婦人会の生活学校(藤田シヅエ代表)を中心に、町や区長会、商工会、ライオンズクラブの後援を得ながら、古紙や空カン、空ビンの回収活動で、この省資源・再利用運動に積極的に取り組んでいます。

ゴミの再利用が進むと、それに相当する原料物資とエネルギーが節約できるのはもちろんのこと、ゴミの量が減って、これまでの埋立地を長く使うことができ、焼却経費も軽減できるうえに、環境の美化にも役立ちます。

### 空ビン回収、二十八トン

空ビン回収は、昨年七月から今年三月まで(二月除く)の七カ月間、巻地区で試行されてきましたが、その結果、一月平均四トン、合計約二十八トンの回収がありました。

巻町での空ビン回収は県内でも最初の試みであり、県内の他市町村でも期待を持って見守っていることから、先鞭(せんべん)を付

### みのり会も

## 省資源・再利用運動を 〔年四回・廃品回収活動〕

捨てる前にもう一度、使えないかを考えよう。巻町農協婦人部巻支部「みのり会」(佐藤カズ会長・会員二百二十八人)では三年前から省資源・再利用運動に積極的に取り組み、成果を上げています。

みのり会では、古紙類や空カン空ビンの回収を年に四回、三月と六月、八月、十二月の第三日曜日に行っています。

同会には区ごとに十八班の下部組織があり、回収日の早朝に各班の役員が自分の家のトラックやライトバンを運転して班内各農家を巡回、集めた廃品を町内回収業者宅にとどけ、そこで取扱わない雑品については婦人会生活学校を通してビン商にまわすという方式をとっています。

廃品回収に取り組みきっかけとなったのは、三年前の婦人団体でつくっている地区連絡協議会の席上、巻婦人会(藤田シヅエ会長)が廃品回収を通じて省資源・再利用運動を進めようと呼びかけたこと

によるものです。

さっそく佐藤会長は呼びかけに応じるため、みのり会内部で協議し、その年の十一月から廃品回収活動に着手しました。

当初は、毎月一回開かれるみのり会役員会の際に、各役員が回収した古紙などを農協巻支所自転車置場に集め、婦人会生活学校の回収と歩調を合わせていましたが、農作業などで欠席する役員もある



### ▲廃品回収に汗を流す みのり会のみなさん

自分の頭や身体をこまめに使えば(資源は)、無駄なく有効に利用できる。とか、不用品を出さないような上手な買い方が第一。とか、あるいは、電気やガス、灯油などの節約方法、米のどぎ汁の利用法、衣類や包装紙、ビニール袋の再利用方法など、生活の知恵が紹介されておられ、読む側も大変勉強になります。

さて、みのり会の今後の省資源再利用運動について、佐藤会長は「これからも、巻婦人会生活学校と連携し協力しながらこの運動を進めていきたいと思えます」と話しています。

ける町として、多くの困難な問題を解決して行かなければなりません。

町でも、試行期間中の空ビン回収を一応の成功と見ており、四月からの本格実施に向けて、婦人会生活学校といっしょに準備を進めています。

本格実施の対象となるのは、巻地区と桔梗ヶ丘団地で、毎月七日を「資源ゴミの日」と定め、現在のゴミ集積場所三百二十カ所で空ビ

### 手続きは確実に

## 軽自動車の異動・廃車

これから軽自動車の新旧交換及び住所の異動が多くなります。

異動や廃車の際は、次のことに留意して手続きをしてください。

◇軽自動車税は、四月一日現在の使用者名義で課税

車が一台しかないのに税金が二分分きた、という苦情を聞きます。これは、廃車などの手続きが遅れていたという場合が意外に多いようです。下取りや廃車を依頼した場合は、手続きの完了を確認してください。

◇廃車は正規の手続きを

廃車のときは、ナンバープレート

トと申検証を陸運事務所へ返納し、廃車(まっ消登録)してください。

ナンバープレート紛失などで、まっ消登録が困難な自動車については税務課へご相談ください。

◇住所を異動する場合

巻町から住所を異動する方は、必ず印鑑と町発行のナンバープレートを持参のうえ、住民課窓口で変更手続きをしてください。

バイク(五〇、二五cc)や農耕作業用のトラクター、コンバインなどを取得した人は、必ず住民課で登録し、ナンバープレートの交付を受けてください。

### よりよいPTA活動をめざし

## 各小・中学校PTAが交流会

町内小・中学校のPTAと交流し、PTA活動についての意見や体験を発表し合い、お互いの良い点を学び合おうと、巻町PTA

連絡協議会(小林哲男代表)では去る二月二十四日、巻南小学校で評議委員会を開きました。

参加したのは、町の小学校五校、中学校四校の先生と各校PTA役員の約五十人。

評議委員会を単なる顔合わせ程度のもに終始させないために、評議委員のほかに、各校PTA活動の原動力になっている専門部長(教養文化部、生活指導部、保健部、施設部など)からも出席してもらい、全体会と分科会で各校PTA活動の問題点を中心に、研究会形式でじっくりと話し合いました。



### ◇老人保健学級始まる

町では、初の事業である「老人保健学級」を2月26日から開始。3月14日まで、お年寄りの食生活や病氣予防を中心に町内5会場で開催。初日の26日は、漆山の老人まどいの家で映画「脳卒中とその予防」を見た後、医師と保健婦による血圧測定や、健康管理についての講話を聞きました。



(第三種郵便物認可)

### おしらせ



### 国保の加入・脱退の届出は14日以内に

国民健康保険の被保険者の皆さん住所の異動や資格の取得、喪失があったときは、14日以内に国保の保険証並びに印鑑を持参のうえ住民課で手続きをしてください。

▶加入する場合…巻町に転入したときは、前住所発行の転出証明書と印鑑。子どもが生まれたときは、国保の保険証と印鑑。

▶脱退する場合…巻町外へ転出するときは、国保の保険証と印鑑。死亡したときも、国保の保険証と印鑑。\*

### 巻町奨学生

巻町・濁東村教育委員会では、昭和55年度の巻町奨学生を次のとおり募集します。

▶資格…奨学生の貸与を受ける日の1年前から引き続き巻町に居住している人。

▶貸与額(年額)  
①高校在学者 4万2千円  
②高専在学者 6万円  
③大学在学者・通学 7万円  
④寄宿 9万円

▶募集人員…若干名  
▶申込先…4月7日までに教育委員会へ申込んでください。

### 野ねずみの駆除

野ねずみの駆除を行うため、田畑に特定毒物を置きますので、お子さんや愛犬の口に入らぬよう充分注意してください。

▶実施期間 3月15日から3月23日  
▶実施区域 福木岡農協管内耕地

### 家庭用はかりの無料検査

県計量検定所では、一般消費者を対象に家庭用はかり(ヘルスメータ、キッチンスケール)や体温計、血圧計の無料検査を次のとおり行います。

▶とき 3月17日(月)午前10時30分から午後4時まで  
▶ところ 役場第1会議室(1階)

### 母子・寡婦福祉金貸付制度

母子家庭のみならず、国の母子・寡婦福祉金の貸付制度をご存知ですか?これは、修学資金、就学支度資金、修業資金、住宅資金、結婚資金、事業開始資金など各種の貸付制度があり、低利で借りることができるものです。

くわしくは、社会課福祉係にご相談してください。

### 募集 硬式テニス・スクール

巻町庭球協会では、硬式テニススクールの第1期生を次のとおり募集しています。

▶募集人数 初級25人、中級10人  
▶開催期間 4月から6月までの毎日曜日の午前中  
▶開催場所 竹野町テニス場  
▶参加費 初級2,000円、中級1,500円  
▶申込み 3月末までに参加費を添えて公民館へ。

## 青少年の非行化を防止

### 健全育成めざす



巻町青少年問題協議会開かれる

春休みが近づきました。春休み期間中は、規則正しい学校生活から「解放」されて、児童・生徒の生活リズムも乱れがちです。青少年自身の解放感と気のゆるみに加えて、「休みの間ぐらいい」とか「うちの子に限って……」といった家庭の甘やかしが、とくに休み期間中に非行が増える原因となつていきます。

巻町青少年問題協議会(会長・巻町長高野幹二)では、三月三日役場で、青少年の非行化を防止し健全育成をはかるための協議会を開きました。

出席したのは、町、教育委員会、社会福祉事務所、警察署、小・中学校、PTA、民生保護士会などの代表十五人で、最近の青少年の動向や環境パトロール、補導などの現況報告、「乱用薬物の性質と毒性について」の講義、今後の青少年教育や施策の重点などを二時間半余りにわたって話し合いました。

席上、渡辺社会福祉事務所長が国が先ごろ発表した五十四年版「青少年白書」を紹介し、青少年の約七十%の家庭が核家族、個室保有少年が八十三%、一日当りの親子の対話時間が母と三十九分、父とは二十五分といずれも短かく、家庭内での対話が少ないう傾向を指摘しました。

一方、巻警察署の斎藤防犯少年課長は同署でまとめた五十四年度中の犯罪と交通事故の報告書を全員に配布し、巻町在住青少年の補導状況を説明。これによると、昨年巻町の青少年で窃盗など刑法犯罪で補導された者が二十八人、く犯や不良行為で補導されたのが三百六十六人(喫煙百四十三人、夜遊百九十五人、暴走行為六十一人、

不健全娯楽四十二人など)となり多くの青少年が補導されています。

さらに、斎藤防犯少年課長は、最近高校生を中心に未青年者の喫煙が増えていること、女子高生の集団万引、シンナーや接着剤を吸う青少年がビニール袋からジュース缶使用に変わりつつあることなどを説明しました。

協議会事務局の教育委員会からは、五十四年度下半期の青少年健全育成事業の報告があり、今後とも学校やPTAとも協力しながら、子ども会の育成や社会教育事業の推進に力を入れてゆくことを確認しました。

また、学校側から環境パトロールの際に雑誌類の自動販売機が三台も増え、十・台も設置されていることから児童生徒に悪い影響を与える恐れがあり、PTAとともにこれらの撤去運動を始めたいという意見が出されました。

青少年問題協議会では、今後隔月ごとに会を開いて、青少年の健全育成のための施策や活動を活発に行っていく方針であり、各家庭でも子どもとの話し合いの機会を増やしなが、非行に走らないよう指導してほしいと呼びかけています。

## 暴走族対策本部を設置

### 巻警察署、署をあげて対処

「暴走族を一掃しよう」と、巻警察署では三月一日、「暴走族対策本部」を設置し、全署をあげてこれに対処することになりました。

巻管内には暴走族グループの講成員はいませんが、組織そのものはなく、多くが白根や三條、燕、新潟にグループの本拠地を持っていきます。

講成員は高校生や店員、工員など二十歳前の青少年がほとんど。昨年はシーサイドラインで、車事故一件、四輪事故二件が、いずれもスピード運転で起きており、うち一件は死亡事故でした。

三月に入ると晴天の日が続くため、暴走族も冬眠から目ざめて活動を始めます。主に土曜日の夕方から角田浜や間瀬に集結し、シーサイドラインを中心に道路いっばいに広がって暴走。対抗車の進行を妨げたり、路上を歩く人を怖がらせたり、また、夜中の三時四時頃まで松野尾や越前浜、角田浜の部落内を、すさまじい排気音響かせてグルグル走り回わり、住民の睡眠を妨害したりします。

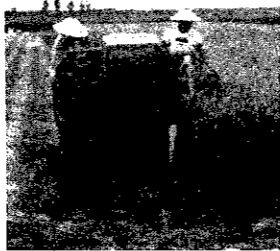
暴走族の車は、二輪ならマフラーをはずし、四輪では改造で車高を低くして巾広タイヤやメロデイホーンを取付けるなど、その多くが整備不良車としても罰則の対象となります。

巻警察署では交通課や防犯少年課を中心に取締り体制を強化、検挙や補導に当たっています。



▲署玄関に対策本部の看板を掲げる

## 農業の真しるべ



### 逆発想 別な道を歩く

巻町農業振興協議会 西村 欣策

「逆発想」という言葉が使われだした。

それは、現在の世の中が、余りにも多くの行き方に出会って、生活の方法に「メド」のつかないものが出てくるからである。

「ものが余ってどうしようもないが、減収すればまた大変である。どうせいいのかわからない」と嘆く農家の姿である。

「過剰の不幸」なんて考えたこともなかった。「大きなことはいいことだ」と、ひた走りに走った社会は、進むも退くもできない状態になったのである。

「見直し」という言葉は、言われては消え、言われても消えていったが、どうとう「逆発想」という言葉になった。

いうならば、もっと別な道を探がして歩く以外に、方法がないと

いう社会になったのである。

各町村で捨て場に困るゴミ、莫大な経費をかけて焼いている廃物も、「燃えるじゃないか」「燃えるものはエネルギー」という逆発想をすると、廃棄物のエネルギー化も進められる。

もっと大きく、日本は資源大国である、という逆発想もできる。

石油も石炭もやがてなくなる。ウランも三十年くらいの寿命だという。

そうすると、太陽熱の利用に狂奔する時代が来る。

ところが、日本は狭いけれども、太平洋という広い面積に降った太陽熱は、雨となって日本の本土へ落ちる。世界に類のない水資源の国である。

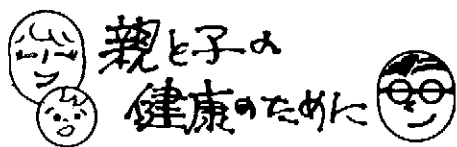
日本海の水蒸気は、全部雪になって、日本へ落ちる。

また、日本の国土は、木におおわれている。緑の国は資源の国である。

木も生えない大陸などは全然違う。潮流も太陽熱の変形である。世界で一番恵まれた国日本、とは、逆発想の前に見る日本の姿である。

食糧は、最もすぐれたエネルギー源であり、農業でなければ得られない。同じ資源を使っても、エネルギーを生産するのは、農業だけなのである。





♥ 献 血 (臨時)

▷と き 3月16日(日)午前9時30分から午後3時まで  
▷と ころ 役場南口玄関

◆ 酒害教室

▷と き 3月17日(月)午後1時30分から3時30分まで  
▷と ころ 役場第7会議室(3階)  
▷内 容 酒をやめたい、やめさせたいと思っている方  
▷講 師 小串文夫先生(佐潟荘)ほか  
※個別相談にも応じます。

◆ 生ワクチン投与

▷と き [巻地区と五・二部落] 3月24日(月)  
[上記以外の地区] 3月25日(火)  
午後1時30分から2時30分まで  
▷と ころ 役場大会議室(3階)  
▷対 象 生後3カ月以上でまだ1回も飲んでいない乳幼児、及び1回しか飲んでいない乳幼児  
※当日は母子手帳と問診票が必要です。

♣ 1歳半児検診

▷と き 3月26日(水)午後1時30分までにお集まりください。  
▷と ころ 役場大会議室  
▷対 象 53年9月生まれの幼児  
※当日は歯科検診も行います。

♥ 3歳児検診

▷と き 3月27日(木)午後1時30分までにお集まりください。  
▷と ころ 役場大会議室(3階)  
▷対 象 52年1月から3月までに生まれた幼児(保育園や幼稚園に通園している幼児はのぞきます)  
※当日は歯科検診と尿検査も行います。

うぶごえ

| な ま え  | 出生月日 | 戸籍筆頭者 | 氏 名  |
|--------|------|-------|------|
| 雨木 裕美  | 1.8  | 茂     | 赤さび  |
| 竹内 眺義  | 1.10 | 文雄    | 12区  |
| 川島 義彦  | 1.12 | 一義    | 3区   |
| 渡辺 志保  | 1.12 | 文夫    | 9区   |
| 相場 博行  | 1.13 | 行男    | 割前   |
| 竹内 美由紀 | 1.14 | 邦昭    | 東6区  |
| 河村 春奈  | 1.16 | 安夫    | 松山新田 |
| 松宮 里美  | 1.17 | 正     | 漆山   |
| 有坂 正一  | 1.18 | 弘     | 13区  |
| 伊藤 友樹  | 1.26 | 勇     | 4区   |
| 竹内 雄也  | 1.26 | 清水    | 漆山   |
| 石山 梓   | 1.23 | 秀司    | 仁箇   |
| 棚辺 智子  | 1.30 | 友衛    | 赤さび  |
| 山本 和美子 | 2.3  | 昭     | 松野尾  |
| 石山 洋子  | 2.3  | 由榮    | 仁箇   |
| 阿部 拓郎  | 2.4  | 耕藏    | 平沢   |
| 田辺 正隆  | 2.6  | 栄喜    | 漆山   |
| 平原 麻美  | 2.9  | 公保    | 四ツ郷屋 |

お く や み

| な ま え  | 死亡月日 | 年 令 | 区 名  |
|--------|------|-----|------|
| 齊藤 周次  | 1.21 | 74  | 角田浜  |
| 田辺 敏衛  | 1.22 | 70  | 東6区  |
| 小野 豊次郎 | 1.23 | 79  | 竹野町  |
| 浅野 タマ  | 1.23 | 94  | 竹野町  |
| 内藤 セイ  | 1.24 | 62  | 8区   |
| 松崎 広吉  | 1.24 | 63  | 東6区  |
| 波多野 克好 | 1.25 | 24  | 7区   |
| 堀 秀寛   | 1.28 | 82  | 大原新田 |
| 小川 マス  | 1.29 | 87  | 越前浜  |
| 布川 石太郎 | 1.30 | 80  | 福井   |
| 田中 安定  | 2.4  | 78  | 東6区  |
| 藤田 清   | 2.5  | 50  | 9区   |
| 齊藤 藤五郎 | 2.10 | 91  | 角出浜  |
| 内藤 ナミ  | 2.11 | 86  | 8区   |
| 高橋 貞三  | 2.11 | 88  | 福井   |
| 雨木 た系  | 2.12 | 50  | 3区   |
| 加藤 松太良 | 2.14 | 80  | 稲島   |
| 阿部 定一  | 2.15 | 70  | 竹野町  |
| 高杉 ミヤ  | 2.16 | 75  | 東6区  |
| 曾山 曾作  | 2.17 | 83  | 漆山   |

踏切事故を防ぎましょう

春の全国交通安全運動

〈4月6日(日)~4月15日(火)〉

**外 科**

16日 県立吉田病院 ☎ 吉田②5111  
20日 桑原医院 ☎ ②2221  
23日 竹前医院 ☎ ②2809  
30日 榊原医院 ☎ ②2809

**3月休日救急病院**

**内 科**

16日 町立巻病院 ☎ ②3111  
20日 長沼医院 ☎ ②2210  
23日 斎藤医院 ☎ ②2056  
30日 大越医院 ☎ ②2707

**昭和55年度**

**固定資産台帳の鑑査**

**3月1日~3月21日**